

令和5年度 第2回定例記者会見（説明内容）

【市議会定例会日程】〔資料1ページ〕

9月議会定例会は、会期を8月29日から9月22日までの25日間の予定。

【定例会提案議案】〔資料2～3ページ〕

本定例会に提出する案件は、補正予算案件が8件、専決処分の承認案件が1件、決算の認定案件が12件の計21件。報告案件として、令和4年度に終了した継続費の精算報告など、計7件。

【令和5年度9月補正予算（案）】

一般会計補正予算は、第5号で8,000万円を、第6号で10億4,887万6千円を追加し、補正後の総額を、374億5,288万5千円とするものです。

第5号では、事業の早期執行を確保するため、先議案件として上程。

特別会計は4会計の補正で、合計4億3,258万9千円を追加し、補正後の総額を199億4,393万9千円とするものです。

一般会計補正予算及び特別会計の今回補正額は、合計で15億6,146万5千円となります。

公営企業会計は、いずれも支出の補正はありません。

水道事業は、収益的収入に1億2,476万7千円を追加し、公共下水道事業は、一時借入限度額を10億円に増額するものです。

【令和5年度9月補正予算（第5号）（案）の概要】

「1. 観光再始動事業」には、観光庁の観光再始動プロジェクトにおいて、事業名称「江戸優り佐原の水辺空間賑わい創出事業～佐原河岸 年中楽しい・嬉しい・美味しい ゴージャスマイナイトグルーピング・・・それぞれの河岸日和～」が事業採択されたことに伴い、10月から2月にかけて週末の夜を特別な空間として佐原河岸を光で演出するイベントなどを実施する経費を計上。10月からイベントを開始する計画のため、先議をお願いしている。

【令和5年度9月補正予算（第6号）（案）の概要】

「1. 減債基金積立金」には、後年度の地方債償還ピークに備え、令和4年度決算剰余金のうち、5億円を減債基金へ積立てるもの。

「2. ふるさと香取応援寄附金事業」には、ふるさと納税ポータルサイトにおける広告を通じた寄附の受け入れが好調であるため、広告料55万円を追加。

「3. 保育運営委託事業」には、国・県補助金を活用して、民間保育施設のICT化を推進し、保育業務の効率化、保育士の負担軽減及び保護者の利便性の向上を図るため業務効率化推進事業補助金762万5千円を計上。また、保育ニーズの多様化により保育士の業務負担が年々増加していることから、保育士の業務負担の軽減、保育環境の向上を図るため、保育補助者雇上強化事業補助金3,724万8千円を追加しました。

このほか、医療的ケア児を新たに受け入れる民間保育施設に、看護師等の配置に要する経費を補助するため、医療的ケア児保育支援事業補助金776万円を追加。

「4. 保育所・児童館等の充実」には、児童福祉費に対する寄附金300万円を活用し、子育て世代包括支援センターや児童館などの備品購入費、公立保育所で実施する体操教室に係る経費などを追加。

「5. 放課後児童クラブ施設整備事業」には、竟成児童クラブの新設に要する経費、山田児童クラブの施設改修に要する経費など1,032万7千円を追加。

「6. 米政策改革事業」には、耕畜連携事業を円滑に推進するためWCS用稲を栽培する耕種農家に対し、奨励金を10a当たり3,000円上乘せするほか、WCS用稲、飼料用米の取組面積の変更に伴い、奨励金998万7千円を追加。

「7. 園芸農産振興対策事業」には、県補助金を活用した、さつまいもの生産・流通体制の強化に必要な施設整備等を支援するための補助金に対する申請希望者が増えたことに伴い、市独自の10パーセント上乘せ補助分、1,869万円と併せて、8,098万1千円を追加。

「8. 道路橋りょう費」には、道路維持事業に1億810万円、道路新設改良事業に3,450万円を追加しました。追加分は、施行時期の平準化を図る観点から、繰越明許費を設定。

「9. 小学校教育振興費」には、小学校費に対する寄附金462万7千円を活用し、小学校の教材備品の充実を図る経費を追加。

「10. 小見川北小学校校舎長寿命化改修事業」には、躯体の健全性を調査する経費700万円を追加。本校舎は、建築後40年以上経過しており、施設の長寿命化を実施することで、児童の教育環境の維持・向上を図るもの。

【6月定例会以降に専決処分した補正予算の概要】

6月19日付けで専決処分した一般会計補正予算（第4号）は、6月2日の大雨被害による災害復旧に係る予算を補正したもので、6,214万3千円を追加。

【令和4年度決算の概要】

「別冊：決算に係る参考資料及び主要施策の成果の説明書 2～7ページ」

[一般会計の決算]

予算現額403億1,800万円に対し、歳入決算額が400億5,600万円、歳出決算額が370億1,100万円で、歳入歳出差引額が、30億4,500万円となる。

そのうち、翌年度の繰越事業に充てる財源2億6,300万円を控除した実質収支額は、27億8,200万円の黒字という状況。

実質収支額のうち9億円は、令和5年度に繰り越さず、財政調整基金に積み立て。

歳入決算額は、前年度より3億8,100万円の増となっており、主な要因は、ふるさと香取応援寄附金が好調であったことによる寄附金の増額や、佐原駅周辺地区活性化拠点整備事業の進捗に伴う市債の増加などによるもの。

歳出決算額も歳入と同様、前年度より4億9,000万円の増となっており、その主な要因は、総務費の減債基金の積立額や佐原駅周辺地区活性化拠点整備事業費などが増加したことによるもの。

【担当課説明】

- ・「令和5年度香取市地域おこし協力隊の紹介」（企画政策課）
- ・「東大生による無料法律相談所を開設」（市民協働課）
- ・「伊能忠敬記念館開館25周年特別展」（生涯学習課）
- ・「第15回香取小江戸マラソン大会」（生涯学習課）
- ・「今年も開催！中学生議会」（学校教育課）
- ・「AIチャットボット運用開始」（秘書広報課）

【参考資料】

主な行事予定（令和5年9月～11月）

【その他】

- ・香取の逸品「平川家のやみつぎネギだれ」（農政課）

平川家のやみつぎネギだれ

ちょっとピリ辛で甘じょっぱい醤油ベースのたれは、どんな料理にも合ってしまう。豆腐に、卵かけご飯に、豚しゃぶなどの肉料理だって。

味に自信があるのは、小ネギの栽培から加工までを自社で行っているから。

あつあつの白ご飯にのせるだけで、お茶碗一杯食べられてしまうまさに「やみつき」になる一品。

自家製ブランドの安心感

生産から商品開発、加工まで一貫して柔軟に対応するのは、自家製というブランド力向上につながっている。

見た目に問題はあるが味に変わりがない青果を加工し、新たな商品として消費者に届けることで、フードロスの削減にもつながった。

調味料の配合や、商品開発はいつも兄弟で試行錯誤。小回りが利くからこそ、どんなことでも挑戦していく。

地元企業とのタイアップ

ネギだれの加工に地元産醤油を使うなど、積極的に香取市産の食材とタイアップした商品開発を行う。都内コンビニでの販売など市外発信も欠かさない。

オール香取のものづくりを目指し、皆が潤うように、何でもやるという意気込みを持つ。

自分たちと同じくらいの若い世代と連携して仕事をすることで、切磋琢磨し、ともに発展していきたいと願う。